

2011.11.16

研究会員の声 4 (“ひとち(人血)造船”)

これらは責任のとれない立場からの生の声を記録したものですので、誤解などあるかも知れません。それを承知でお読みください。

○ 皆が言い出した言葉に”ひとち造船”がある。

人の血を吸って生きているから「ひたち造船」でなく、「ひとち(人血)造船」だ。

事実、血の吸うような努力で開発した高圧管だよ。何日も泊まりがけで初めて成形に成功したときはうれしかったねえ。夜中だったので帰った人もいたが、主要メンバーはほとんど残っていて記念写真を撮った。ここに来るまでに、給料未払いは当たり前、家に帰らず嫁さんに逃げられた人、会社の資金にするためにやむを得ず家を売った人、など、血の出るような努力があった。

ここまで努力して成功させた技術を我が国で世に還元すべく、Dr. Nishino の古巣で大量生産が得意であろう「ひたち造船」へ持って行ったわけだ。日本の智恵を世界へ羽ばたかせ、我が国の繁栄を図るとの思いである。ところが、かつての栄光の技術の HZ はどこへやら、品格も落ちてしまっていた。お金屋さんが支配するヤクザ集団「ひとち(人血)造船」と化していたというわけだ。向こうはいいカモが来たと思っていたことであろう。人の血を飲んでも何とも思わない人たちだ。正確には錬金思想が入ってきて、血の出るような苦勞して畑を耕すよりも人の血を飲んだ方が即効的に元気が出ることを発見し、その味を覚え、人の血を飲んでも何とも思わなくなってしまった人たちであろう。

世の中には”まね**電器”など、揶揄される会社がある。”まね”はまだかわいげがある。自らはようしないので、人のまねをするわけである。でも人のものを盗ったりはしない。ところが「ひとち(人血)造船」は人の血を吸って生きるわけであるからたちが悪い。アジアの要人が言っていた。日本の武士道はどこへ行った？ アジアでは日本の固有の精神に対する評価が高い。それも地に落ちた HZ は「ひとち(人血)造船」がずばり当たっている。

○ ”ひとち(人血)造船”の人たちは上場会社としての”ひたち造船”のことをどう思っているのだろうか。見つからないと思って犯すのが”幼児わいせつ”であるから、見つかるとは思っていなかったのであろう。ところが”想定外”に声を上げられてしまったので、株価を落とし、困惑しているであろう。

Oly 社の外人社長と同じく Dr. Nishino がいるとうるさいので追い出してしまった。ところが”ひとち(人血)造船”から来た技術担当は能力外、多くの社員が辞め、残った技術者だけではカバーできない、旧式機械をかかえていい売却先をつぶされ、この点でも困っているだろうね。また、NEDO の開発資金が投入されているものであり、それを実質海外売却してしまう体制自体も問題となろう。

○ 公開質問状を浴びて9月下旬以降、ニュースになったわけではなかりに株価は 116 円から 100 円とかじわじわ 13%下落した。日経平均はこの間に最大見積もって 2%しか下落はしておらず、またバイオエタノール用ゼオライト膜製造やガスエンジン供給 10 倍拡大のニュースにはほとんど反応していないので、公開質問状の影響と見るべきであろう。会社価値はおよそ 100 億円下落したわけだ。

広く公にされたことによりヤクザ会社・リスク会社・人血（ひとち）会社の悪名を不動のものとしたといえるであろう。下げた評判は一朝一夕には上げられない。会社に暗いイメージがつきまとう。もともと低かった会社の品格はこれで堂々の 2 階級特落である。これは 10 年単位で続くものであり、時価毀損総額 100 億円以上のものがある。100 億円で格を元に戻すことができるのであれば安いものであるが、海外にまで広がったダーティーなイメージは簡単には消せない。自らやる気と能力がなく、うまく売り逃げできてせいぜい 20 億円のもうけが、学者など皆が持ち寄ったベンチャ資金数億円を巻き上げようとしたばっかりに、会社価値 100 億円以上を失ったということが言えるであろう。”ひとち造船”さんお得意の談合に例えれば、売り込みに行った役所に見破られて通報されてしまったと言うことになる。でもこれは、会社の思考自体が反社会的になってしまっていることに起因し、身から出たサビである。しかし、多数の株主・社員にとっては迷惑な話である。

○ 信義を守る Dr. Nishino は、20 年近く”ひとち造船”に在籍して、その間に得た FRP 管に関するノウハウは尊重し、封印していた。特許権が切れる 20 年を律儀に待って、ライフワークとしての遠心成形法による高圧管の開発に乗り出した訳である。その支援を”ひとち造船”に持って行った結果が、乗っ取りと追い出しである。おまけが株主間協定であり、Dr. Nishino 他は今後一生高圧管の生産に関与しないことを誓約させられた。これは個人の職業の自由を奪う協定であるが、会社の継続と支援してもらってきた株主・社員の権利を守るためやむを得ないとして飲んだ。しかしながら、株主間の株移動はできることに気づき、株を移動して事実上失効させることができた。今では会社を潰すことにより”ひとち造船”自身が協定を消滅させたとも言える。

後記： DV や児童虐待と同じく、会社間の首絞め・暴力などは、近くにいても外部からではなかなか分からない。”ひとち造船”はそれをよく表しており、ブラックユーモア賞に値すると言えよう。